

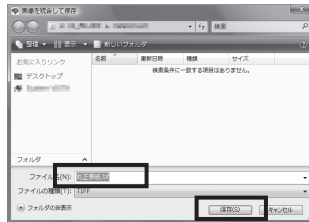
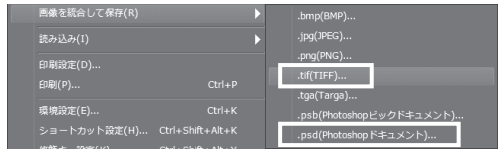
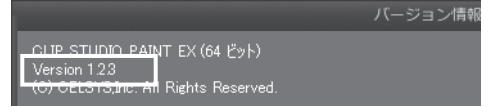
## CLIP STUDIOの データ書き出し②

(CLIP STUDIO PAINT EXの場合)

CLIP STUDIOで作成したカラー原稿の書き出しについて解説します。  
※作業前に最新のアップデートを行ってください。

### 1 統合して保存

ファイル→「画像を統合して保存」を選択し、「tif(TIFF)」または「psd(Photoshopドキュメント)」で書き出しを行うと、保存先とファイル名を尋ねてきますので、入力して「保存」をクリックします。



### 2 書き出し設定

書き出し設定ウィンドウの枠内を以下の様に設定します。

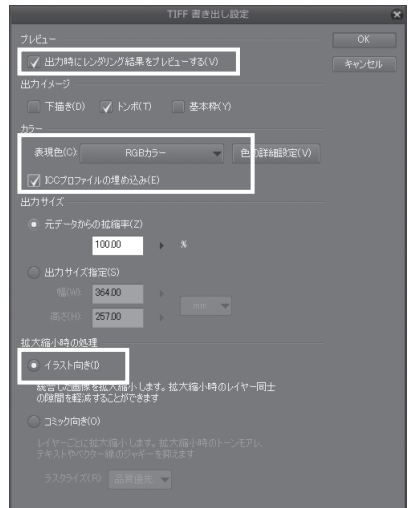
プレビュー:「出力時に～」ON

出カイメージ:トンボ

表現色:RGBカラー ▲

またはCMYKカラー

拡大縮小時の処理:イラスト向き



CMYKカラーを選択した場合は「環境設定」の「カラー変換設定」にあるプロファイルに従ってRGB→CMYKのカラー変換をしながら書き出しが行われます。

▲ 注意して下さい

RGBカラーを選択した場合は「ICCプロファイルの埋め込み」をONに。

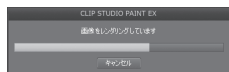
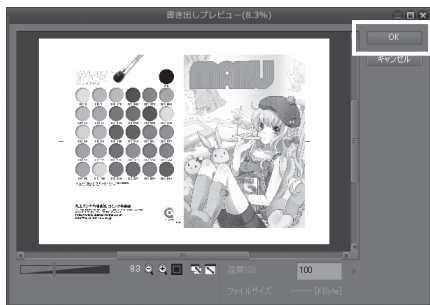


### 3 書き出し

設定が完了し、OKをクリックすると書き出し処理が開始されます。

②の「出力時に～」がONの場合、ファイルの保存前にプレビューが表示されますので確認し、「OK」をクリックすれば書き出しが完了します。

なお、ここで「キャンセル」を選択すると、ファイルは保存されません。



### 4 作成・編集はRGBを推奨

②でも触れましたが、CLIP STUDIO PAINTはデータ書き出しの際にCMYKカラー変換をしています。作成・編集作業中はRGBカラー固定で、カラー滑り台でCMYK色を作成しても数値を維持できません。

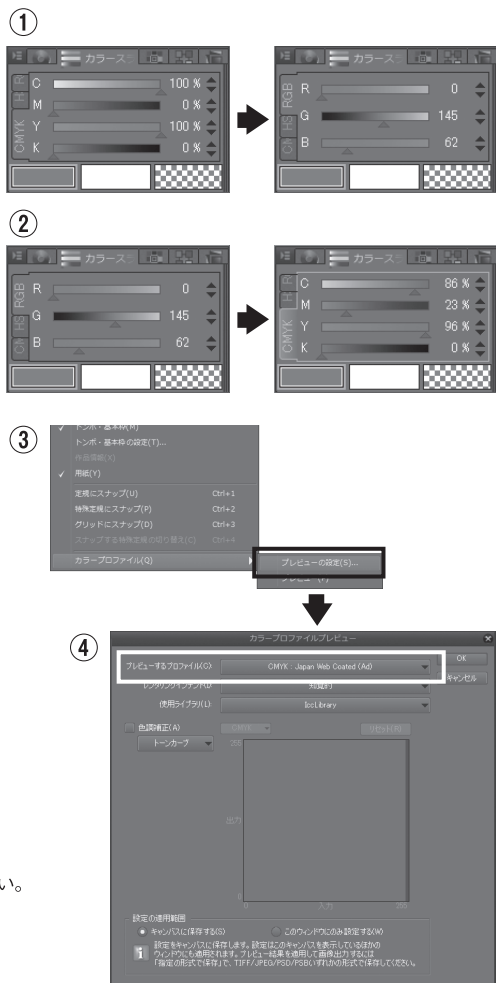
図①はCMYK値に対応するRGB値をカラー滑り台で表示しています。これに対して図②は図①と同じRGB値を作った際に対応するCMYK値を表示していますが、同じ値なのにCMYKに変換すると図①のCMYKとは異なる値になります。

以上のことから、作成・編集作業中はRGBカラーで行うことを推奨します。

また、CMYKでのデータの書き出し時には、書き出し直前にデータ作成中のプレビューでの確認も可能です。

「表示」→「カラープロファイル」→「プレビューの設定(図③)」でカラープロファイルプレビューのウィンドウ(図④)を開き、反映させたいプロファイル※を指定すればシュミレートが可能になります。

ただし画面上の色と印刷物の色とで大きく違う場合があるので注意が必要です。



※プロファイルの設定・詳細は各印刷会社にお問い合わせください。

**RGBとCMYKの色差に注意!!**